

# 校長室の窓から 251

## 080605 バッタの幼虫とり

円形広場のアジサイがきれいな花をつけています。季節が春から夏へ移りかわろうとしているようです。

築山では、たくさんの子供たちが夢中になって何かを集めていました。

バッタの幼虫です。

足下のあたりをピョンピョンと無数の幼虫がとんでいます。虫かごの中には、すでに20匹以上の幼虫が入っていました。

見せてもらいましたが、まだ細く小さく、老眼の私にはとても見付けられないくらいの大きさです。まだ卵から孵化して間もないのでしょうか。

バッタは孵化すると、成虫とそっくりな形の幼虫になりますが、まだはねがありません。

はねがないため子供たちにとっては採集しやすく、次から次へと捕獲され(ちょっとかわいそうですが)、かごに集められていました。

バッタはこのあと、数回の脱皮を繰り返しながら成長していくものと思われます。夏の終わりごろには、はねをつけた立派な成虫となっていくでしょう。

バッタさんには気の毒ですが、子供たちにとっては、このような昆虫の変態も、遊びを通して知る大切な学びです。くれぐれも命をぞんざいに扱わないよう気を付けながら、観察してほしいものだと思います。

愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀 かおり

